

令和6年度 第2回 浪江町環境審議会 議事録

■日時：2024年11月29日（金） 10：30～12：10

■会場：浪江町役場本庁舎 4階全員協議会室

■出席者：（委員）五味委員※、沼田委員※、赤田委員、佐藤委員、菅野委員、前司委員、
會澤委員※ ※はオンライン出席
（事務局）産業振興課長、新エネルギー推進係長、係員2名
住民課長、除染環境係長、係員1名

■次第

- 1 開会あいさつ
- 2 自己紹介、会長の選出
- 3 議事
 - (1) 確認事項
 - ・環境審議会について
 - ・今後の審議事項について
 - ・浪江町の脱炭素施策について
 - (2) 協議事項
 - ・来年度実施予定の脱炭素施策について
 - (3) その他
 - ・スケジュールについて
- 4 閉会

■配布資料

- ・次第
- ・資料1：出席者名簿
- ・資料2：座席表
- ・資料3：議事(1)確認事項
- ・資料4：議事(2)協議事項
- ・資料5：議事(3)その他
- ・補足資料：浪江町環境基本条例
浪江町環境審議会規則

■議事録

1. 開会あいさつ	
事務局	ただいまから令和6年度第2回浪江町環境審議会を開催いたします。 まず、開会にあたって事務局の蒲原課長より挨拶をいたします。
課長	あいさつ
2. 自己紹介、会長の選出	
各委員及び事務局から自己紹介を行った。	
五味委員を会長として任命した。	
3. 議事	
事務局	それでは議事に入らせていただきますが、議事進行については会長である五味先生にお願いしたいところではございますが、五味先生が体調を崩されているため、代理として事務局の蒲原産業振興課長が進行いたします。
課長	それでは次第に沿って進行します。 議事（1）確認事項について、事務局より説明をお願いします。
議事（1）確認事項について	
事務局より資料3に基づき、環境審議会の概要、今後の審議事項及び浪江町の脱炭素施策の体系について説明を行った。	
課長	事務局からの説明について質問等がありますか。
委員	環境基本計画はいろいろな計画で存在が明記されているが、今現在、存在していないという認識でよろしいか。
事務局	環境基本計画は今年度から作成に入ったところです。
課長	他に質問等がありますか。 無いようであれば、議題（2）協議事項について事務局から説明をお願いします。
議事（2）協議事項	
事務局より資料4に基づき、浪江町で実施している脱炭素施策及び来年度から新規に取り組む事業について説明を行った。	
課長	以上の説明について質問等ありますか。
新規事業について	
委員	今回の生成AIや電子広報等の施策については、紙や人件費は削減されると思うが、電気がより必要になってしまうため、本当に脱炭素施策になり得るのか。
事務局	ご指摘いただいた通り、脱炭素を主とした事業ではないと思っています。しかしながら、脱炭素効果もありますよ、といった副次的な効果を狙っていききたい事業です。電子化することによって電気使用量は増えますが、そこに再エネ由来の電力を使っていくなど、他の事業と組み合わせを進めていく事業もあります。他の施策との関連性が分かりやすい資料の作成も図っていききたいと考えています。

委員	健康促進事業について、健民カード倍増はそもそも2, 3人しかいないので、登録者倍増は目標として簡単すぎるのではないかな。
事務局	目標値の設定については持ち帰って検討させていただきます。
委員	公共施設ではすべての電力について再生可能エネルギーを使用していくといったものを目標にしていますが、その種類は何を想定しているのか。
事務局	町としては再エネ促進区域に太陽光や風力で発電し、新エネ会社が供給することを想定しています。屋根置き太陽光発電も増設したいと考えています。また、比較的安定した電力供給が見込める風力・水力・バイオマスといった電源も組み合わせつつ、太陽光発電に依存しない体制を作りたいと考えています。
委員	農業で太陽光発電をやるといった施策もあるが、営農型の太陽光は農業に対して影響がありすぎるのではないかな。既存のメガソーラーによる不安もあるが、具体的な解決法はあるのか。
事務局	まずは谷津田、酒井等のメガソーラーは地域の住民の意見で開始されたものです。これからは個別の農地に対して太陽光の設置が課題となってきますが、農業の支障にならないような手法を探っていきたいと考えています。
委員	意見として述べますが、風車や送電線などの開発も山の深部で実施されるのはまだいいが、周辺への影響が心配である。特に管理道路は線状降水帯による降雨時に河川のようになる恐れがあり、砂礫が川や海に流れ込んでしまい、放射性物質が海まで拡散されてしまう懸念はぬぐい切れない。
委員	電子広報が既存の産業を潰してしまうのではないかな。 イベントチラシの同封も重要ではないかな。
会長	広報等については電子化も良いと思うが、紙の良さもある。しかし、紙の製造、輸送などが減ることによる脱炭素の影響は大きいと思っている。
会長	「AI の使用電力が大きい。ペイしないのではないかな。」という点については、電子化は基本的に省エネになっていると考えている。仕事量が削減され、職員が減り固定費が減れば、目に見える形で脱炭素効果が出てくるだろう。
会長	新規事業で上がっている ZEV 転換について、対象となる車の種類はどのようなものを想定しているか。バスやゴミ収集車もあると思うが。
事務局	まずは乗用車を対象として順次転換していき、ゴミ収集車のような代替できる ZEV が商用化されていないものについては、排ガスの少ない車両を選択するような内容を盛り込んだ指針とする予定です。

脱炭素施策全体について	
委員	浪江町としてどういう町にしたいのか。脱炭素施策が多数あると思うが、どのように繋がってどのような町になって、住民・産業・商業等に関わっていくのかを明記して欲しい。現状ではそれぞれの数値目標になっているだけで、孤独にやっているように感じている。
事務局	いろいろな施策が実は横でつながっているということが分かりづらく、例えば電子化についても、脱炭素とDX推進の違う目線で同じ施策について検討していたりします。そのため、環境審議会だけではなく、全体的なところで認識のすり合わせが必要だと感じています。全体が見えていないと何のためにやっているのか分からないので、推進本部でも検討していきたいと思います。
委員	なみチャレで様々な取り組みが進んでいくが、町としてその中でも脱炭素効果が低くても推していきたい事業を区別して欲しい。
委員	商工会目線でいうと、補助金の相談先が分からない。事業者も分からない。そういったところをまとめていただけると良いと思う。
委員	令和7年度事業の来庁者用の新聞廃止事業で予算額がマイナスになっているのは、予算規模としては表記がおかしいのではないか。デジタル版の購入検討であればむしろプラスではないか。
事務局	新聞の購入を廃止した場合の予算削減額を表記していました。
会長	F-REI がかなり大きな事業所となるので、そこでも脱炭素事業を実施してもらわないといけないのではないか。
課長	他に質問等がありますか。 無いようであれば、議題（3）その他について事務局から説明をお願いします。
議事（3）その他	
事務局より資料5に基づき今後のスケジュールについて説明を行った。	
課長	以上の説明について質問等ありますか。 無いようであれば、本日予定していた議事について、全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。
4. 閉会	
事務局	ありがとうございました。 それでは閉会にあたりまして、五味会長より一言いただけますでしょうか。
会長	会長あいさつ
事務局	ありがとうございました。 以上を持ちまして、令和6年度第2回環境審議会を閉会いたします。